学校教育目標　「郷土を愛し　心豊かで　たくましく生きる子」

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
学校だより　No.４
平成 30 年(2018 年)5 月 18 日

修学旅行で自覚する

【平城京朱雀門の前で】

修学旅行の目的は、社会科の発展学習の場であることはもちろん、学校という環境以外の場で、人としての気遣いやマナー、考え方や臨機応変の対応を学ぶことであると思います。それを、集団を通して学んだところに、物見遊山や家族旅行では味わえない、交友の深まりや学級集団としての高まりを感じました。

具体的には、一生懸命見て、聞いて、メモして、考えている姿をたくさん見ました。班行動では、遅れる友だちを気遣う声が聞かれました。挨拶や返事の声もよかったです。注意されたこともありましたが、常に何のために、今何をするべきか考えた行動でした。気持ちのよい修学旅行の２日間を過ごすことができたのは、自覚が芽生えてきたからではないかと思えました。この伝統を下学年につなげたいと思います。

【奈良公園散策】

【東大寺大仏殿見学】

【平等院の前で】

【金閣寺見学】

田植えから自然の恵みを学ぶ

１年生、５年生、たんぽぽ・ひまわり学級が田植えをしました。５年生が田植えをするのは、「田んぼのこ事業」があり、「作物を育てて食べるところまで」一貫して取り組み、食べ物や自然に感謝をすることができるようにという取組です。そして今日、この田んぼに、ニゴロブナの稚魚が放流されました。「魚のゆりかご事業」の取組です。田んぼは、稲を育てるだけでなくプランクトンが育ち、水生生物や昆虫やオタマジャクシやドジョウ、それを食べに来る水鳥などたくさんの生き物を育てます。もちろんこの田んぼで養魚となったニゴロブナは瓜生川から伊庭内湖に泳いでいき琵琶湖で育ちます。

ご協力いただいた耕作主の山田さんご夫妻、農業委員の大西さん、農地利用最適化推進委員の片山さん、JAｸﾞﾘｰﾝ近江能登川北ふれあい店さん、そしてこれからお世話になる伊庭自治会環境保全の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

【まずは、苗の説明】

【１年生の後ろには幼児園児】

【５年生の手つきはさすが余裕】

【繖山の美しい風景が圧巻　】